

子育て相談 Q&A

市立幼稚園の「さんさんひろば」（3歳児親子ひろば）で保護者の皆様からご相談いただいたことと、それに対するお答えを紹介します。子育てに正解はありませんが、一つの考え方として参考にいただければと思います。

Q：左利きは治さないといけませんか？

A：無理に右利きにすることはありません。今は左利き用のはさみを用意するなど、左利きの子どもへの指導も配慮しています。



Q：家族が全員右利きなので、左利きの箸や鉛筆の持ち方が教えにくいのは、どうしたらよいですか？

A：向かい合って見せるのも一つの教え方。少しずつ繰り返していくことが大切です。



Q：昔話はいつごろから読んであげればいいですか？

A：3歳から読んで構いません。ただ、昔話は長いものもありますので、最後まで聞くことがしんどくなることもあります。一つのお話でも複数の絵本が出ていますので、お子さんが楽しく聞ける長さを考えて選びましょう。

Q:牛乳が全く飲めないのですが大丈夫ですか？

A:アレルギーがなければ、最初から無理に飲ませることはしません。先生や友達に励まされながら少しずつ飲めるようになるお子さんが多いです。お子さんが一口でも自分で飲んでみようと思えるようになることを大切にしています。

Q:好きな遊びのときは親と離れられるのに、体操や絵本のときは親から離れられないのですが、大丈夫でしょうか？

A:個人差が大きい時期なので、焦らなくても大丈夫です。おうちの方の傍で、まずは見て参加をしています。安心したら、できるようになってきます。



Q:先生の指示がちゃんと聞けないことが多いのですが？

A:幼稚園で、少しずつ話を聞くと楽しいことが経験できることがわかってきますので、聞こうとする気持ちが育っていきます。



Q：幼稚園のお弁当はお箸を使わないといけませんか？

A：5歳ごろにお箸を使って食べられるようになると良いでしょう。はじめは上手く使えないので、フォークやスプーンを併用して少しずつお箸を使う練習をしましょう。おうちの方がお箸を使って楽しく食事をしている姿を見て意欲が湧きます。



Q：集中力がなくて、一つのことにじっくり取り組めません。

A：身の回りのいろいろなことに興味をもてることは良いことです。自分の知らないことに出会って「何だろう」と考えたり、「面白そうだな」と興味を広げたり、様々なことを吸収しようとしています。やがて、自分の好きなことを見つけ、集中して遊ぶ時期がやってきます。

Q：もうすぐ4歳ですが、オムツがとれません。トイレに入るとできなくなります。入園に間に合うか心配です。

A：トイレに行けたことをまずは褒めてあげましょう。また、カレンダーを用意して、「トイレに入れたらシールを貼る」「便座に座れたらシールを貼る」などお子さんが嬉しくなることを工夫したり、トイレにお子さんの好きなキャラクターの絵や写真を貼って「〇〇が、一緒におしっこしようって応援してるよ」などと、遊び心を入れてリラックスさせたり、好きなキャラクターの柄が入ったパンツをお子さんと一緒に選んだりすることなど楽しくなる働きかけも試してみてください。入園に間に合わなくても幼稚園も一緒に取り組みますから、一人で抱え込まないようにしてください。

Q：人見知りで、同世代のお友達とあまり遊べません。

A：人見知りだからといって親子でいるのではなく、積極的に子どもたちが集う場所に足を運んでみてください。思い通りにいかないことや、友達と一緒に楽しい経験をする中で、人との関わり方を覚え、つながりができたり、他の人に慣れたりします。

Q：マイペースで幼稚園に入ってからが心配です。

A：友達と一緒に生活していく中で、楽しいことを経験したり、やりたいことが見つかったりして変わってきます。お子さんの良いところに目を向けていくとマイペースなところもお子さんの良さになってきます。

Q：一人っ子で、友達の中に入れるか不安です。

A：集団の中に入っていくことで、少しずつ人とかかわる経験をして友達の中に入れていけるようになるので、心配はいりません。今は、自己主張できることを大切にしてあげましょう。



Q：おもちゃの貸し借りができなくて心配です。

A：3歳の頃は、まだまだ自分のことで精いっぱいな時期です。「貸したくない」「私も使いたい」と思うことも大切な感情です。「〇〇しなさい」と怒らないで、「〇〇ちゃんも使いたかったんだって」「終わったら貸してあげようか？」「どうしたらいいかなあ」などお子さんの心に問いかけるように声をかけてみてください。すぐに解決ということは子育てにはなかなかないことですが、お友達と関わる中で少しずつ少しずつわかっていきます。いろいろな経験を重ねながら、お子さんが自分の心でわかっていくことが大切だと思います。

Q：みんなと一緒に活動ができません。大丈夫でしょうか。

A：みんなと一緒にできる子が「良い子」ではありません。この時期の子どもは、まずは自分のしたいことができ満足します。それは、自信につながったり、意欲につながったりしていきます。これから、みんなと一緒に遊んで「楽しかった」という経験を重ねることがかわってきます。

Q：お友達ができるのに、我が子ができないと心配になってしまいます。

A：「個人差はあるもの」といわれても気になるのはわかります。そんなとき、我が子の良いところを見てください。前よりも少し変わってきたことがあるはずなのです。それが見つけられるようになると、意外と気になることが減ってくるのです。